

授業科目 臨床実習 III (総合実習)

【担当教員名】 学科全教員 (古西 勇、他)	対象学年	4	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	10	時間数	450

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
臨床において患者・障害者に理学療法士として接する場合の基本的な態度を理解し実践する。また、学内や臨床実習Ⅱ（評価実習）で学習した知識や技術を患者・障害者の評価に応用し、理学療法士となるための資質をさらに高める。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 臨床における理学療法の対象者に検査測定及び評価を行う。
 2. 臨床に関わる他部門の職種等から対象者に関する情報を収集し総合的な評価に役立てる。
 3. 検査測定においてより信頼性の高い方法に熟練する。
 4. 対象者に応じて選択した検査測定項目の妥当性を検証する。
 5. 検査測定の結果を適切に記録し、他の情報と合わせて、対象者の全体像をまとめ理学療法の重点課題を解釈し記述する。
 6. 対象者の特徴を考慮して、問題点を抽出し治療目標及び治療方針・理学療法プログラムを立案する。
 7. 対象者に理学療法プログラムを適用する（臨床実習指導者の監督下で治療を行う）。
 8. 一定期間のプログラム適用後、再評価を行い、治療目標や治療方針・理学療法プログラムの見直しを行う。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実習前オリエンテーション	全	説明、諸手続 学年担任教員、他
2	病院・施設実習	全	臨床実習指導者及び全教員
3	実習後セミナー	全	発表、討論 全教員

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に定めない			
参考書	特に定めない			
その他の資料				

【評価方法】 臨床実習指導者による一次判定、実習後の提出物とセミナーをゼミ担当教員が評価しての二次判定、学科会議による総合判定により評価する。	【履修上の留意点】 病院・施設実習中は臨床実習指導者の指示に従うこと。詳細は、実習前オリエンテーション及び臨床実習Ⅱ（評価実習）の実習前オリエンテーションで配布される「臨床実習の手引き」を参照。
--	--

理学療法学科 専門